

特別調査① 「円相場が業績に与える影響に関する調査」

調査趣旨

外国為替市場では、欧州の信用不安などから円が買われ、円相場が1ドル70円後半、1ユーロ100円前半と、円高水準が長期化しており、企業業績悪化や株価下落の大きな要因になっていると言われています。今回、この円高の流れが、松本地域の企業業績に与える影響について調査・把握し、今後の中小企業支援へ反映させるための基礎資料として、景気動向調査の特別調査を実施した。

結果概要

1. 円相場に関連した取引があるとする企業は20.8%であった。円高の影響度合いについては、全体として70.7%の企業が何らかの影響を受けており、特に製造業、卸売業では、影響が「大きい」「やや大きい」とする企業が、それぞれ42.1%、36.4%と高かった。
2. 円高によりどのような影響が出ているか聞いたところ、プラスの影響とするのは2.2%で、原材料価格、仕入れ価格の低下が主な理由であった。一方で、マイナスの影響は36.0%で、輸出の停滞による受注や設備投資の減少、消費マインド冷え込みを挙げる回答が多かった。
3. マイナスの影響に対する緩和策では、人件費以外のコスト削減を掲げる企業が多く、厳しい経営が続くものと考えられる。また、新分野・新市場の開拓、国内での販路拡大を挙げる企業も多く、国内需要の取り込みが一層重要度を増している。

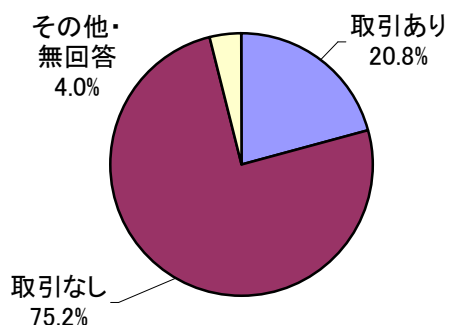
設問項目

- 問1 貴社は円相場に関連した取引はありますか？
- 問2 円高が業績に与える影響の度合いについてお聞かせください。
- 問3 円高進行により、業績にどのような影響が出ているか、または今後どのような影響が出るか、考えられる事象を具体的にご記入ください
- 問4 マイナスと考えられる影響に対する緩和策についてお聞かせください。
- 問5 今回の円高の影響も含め、今後、行政や商工会議所に望む支援についてお聞かせください。
- 問6 その他、円高進行による具体的な影響や現在の景況、貴社の経営上の課題、商工施策全般へのご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

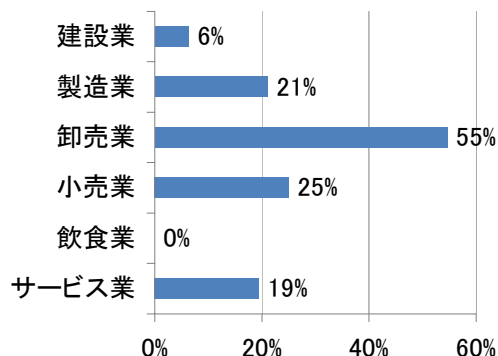
調査概要

調査期間 平成23年10月1日～平成23年10月31日
調査先 景気動向調査対象企業200社(建設業25社、製造業30社、卸売業22社、小売業43社、飲食業23社、サービス業57社)に対するアンケート
回収状況 建設業16社、製造業19社、卸売業11社、小売業16社、飲食業8社、サービス業31社
合計101社

問1 貴社は円相場に関連した取引はありますか？

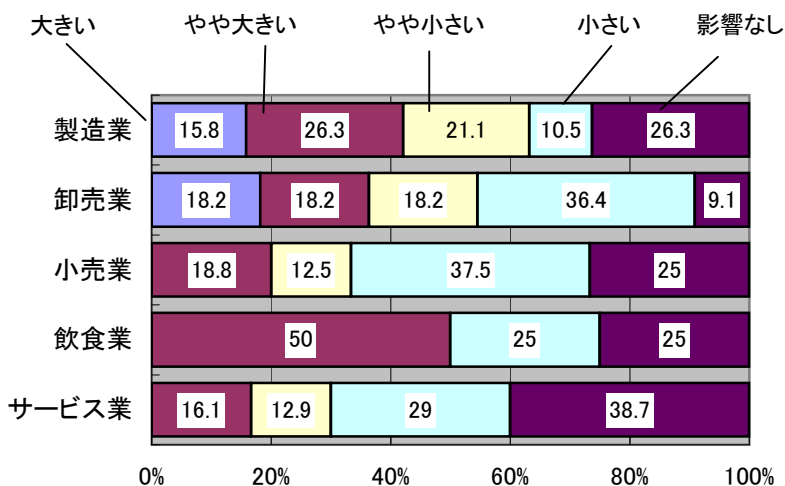
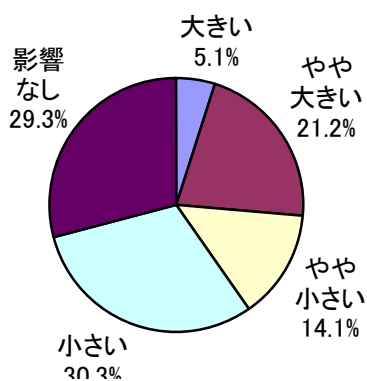


「取引あり」の業種別割合



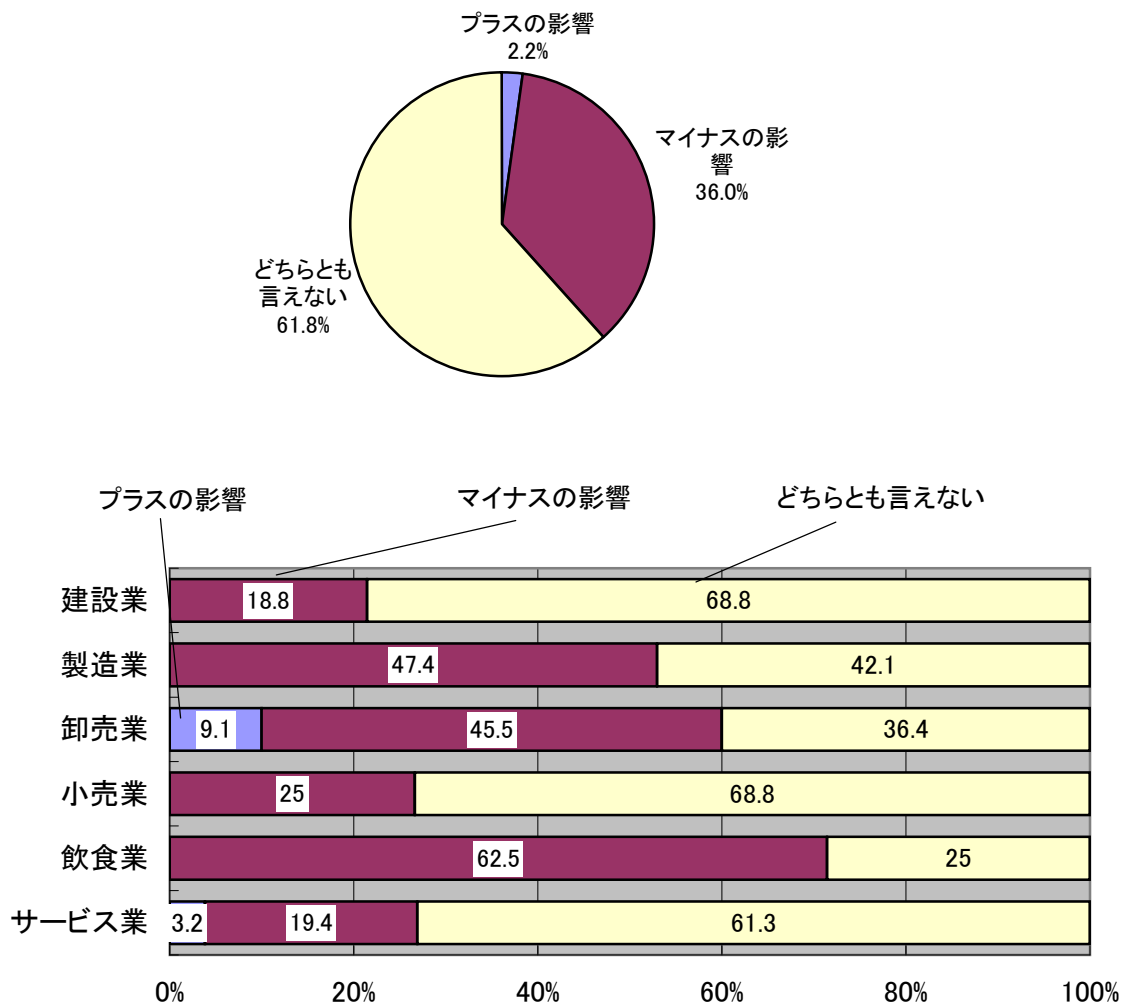
- 円相場に関連した取引について、「取引あり」と回答した企業は20.8%、「取引なし」75.2%となった。
- 業種別では、「取引あり」とした企業の割合は、卸売業が最も高く55%、次いで小売業25%、製造業21%、サービス業19%、建設業6%、飲食業は0%だった。

問2 円高が業績に与える影響の度合いについてお聞かせください。



- 円高が業績に与える影響の度合いについて、「大きい」5.1%、「やや大きい」21.2%、「やや小さい」14.1%、「小さい」30.3%と回答した。「大きい」～「小さい」を合わせた何らかの影響がある企業の割合は、70.7%と、3社に2社が影響を受けていることが分かった。
- 何らかの影響があると考えている企業の割合は、卸売業が90.9%と高く、次いで飲食業と小売業の75.0%、製造業73.7%であった。
- 業種別にみると、影響が「大きい」とした企業は、卸売業18.2%、製造業15.8%が高く、「やや大きい」とした卸売業18.2%、製造業26.3%を合わせると、卸売業36.4%、製造業42.1%が、円高が企業業績に比較的大きな影響を与えていると考えている。また、飲食業は、影響が「大きい」とする回答はゼロであったものの、「やや大きい」が50%と他業種と比べて突出している。飲食業は、問1で円相場に関連した取引の有無については、「取引あり」との回答なかったことから、他業種における円高の影響が、円相場に関連した取引がない飲食業にも及んでいると推測できる。

問3 円高進行により業績にどのような影響が出ているか、または今後どのような影響が出るか、考えられる事象を具体的にご記入ください



■円高が業績に与える影響については、「プラスの影響」2.2%、「マイナスの影響」36.0%、「どちらとも言えない」61.8%であった。現在の円高水準は、地域経済にマイナス影響を与える割合が高いことがわかった。

■業種別にみると、「プラスの影響」としたのは、卸売業9.1%、サービス業3.2%だけであった。逆に「マイナスの影響」を挙げたのは、飲食業62.5%が最も多く、次いで製造業47.4%、卸売業45.5%、小売業25.0%、サービス業19.4%、建設業18.8%であった。

■「プラスの影響」とした具体的な理由は、原材料の調達コストの低下（建設業、製造業、小売業）、仕入価格の低下（卸売業、小売業、サービス業）が主な理由として挙げられている。特に輸入品については、円高が歓迎されている。

一方で、「マイナスの影響」では、企業の海外シフト（建設業）、輸出企業の業績悪化（製造業）、輸出企業からの受注減少（製造業）、為替差損の発生（製造業）などを挙げる企業が多かった。また、観光業では海外からの旅行客の減少（ホテル）などが挙げられた。

小売業、飲食業などでは、直接的な影響だけでなく、消費マインドの冷え込みによる業績へのマイナス影響を懸念する声があった。

プラスと考えられる影響

建設業

鉄工	・素材(特に鋼材)の価格が安くなる。
----	--------------------

製造業

精密板金 厨房器具 農業機械 金属塗装、食品・飲料	・材料価格の一部低下 ・材料(鉄、ニッケル、銅他)のコストが下がるので、資材費が安くすむ。 ・輸入部品の値下がり。 ・原油等輸入原材料が安く仕入れられる。
------------------------------------	--

卸売業

魚介類 自転車 青果 食品総合 木材・建材	・輸入商品が多少安い。 ・海外製自転車や部品等は円高メリットがあり安値仕入が出来るが、売価も安くせねばならないので利益は出にくい。自転車は海外生産が90%以上で、国内製造は少ないのが現状。 ・輸入商品の仕入高が下げられれば利益につながるが、大きな下げは考えにくい。 ・海外で高値取引されている商品の輸入価格が低く抑えられている。逆にマイナスとして価格競争、安売り品が出る事が挙げられる。 ・仕入価格の下落
-----------------------------------	--

小売業

ギフト商品 パン 陶磁器 石油製品販売	・安い輸入品が増して、安い品を販売できる。 ・輸入原材料が下がることを期待するが、現実には下がらない。 ・輸入品の価格低下 ・石油製品等の仕入れ価格が低下する。
------------------------------	---

サービス業

情報関連サービス 写真撮影、獣医 タクシー、倉庫、温泉旅館 クリーニング	・パソコンの生産は、殆どが海外で行われており、パソコン価格は下がり、販売し易くなってきた。 ・輸入している原材料費の低価格。 ・燃料価格の低下。 ・原油・天然ガス等の燃料費のコストを下げる事ができる。
---	---

マイナスと考えられる影響

建設業

電気工事 建設工事、鉄工 総合建設 建築工事	<ul style="list-style-type: none"> ・景気低迷。 ・企業の設備投資が海外に移ってしまう。 ・製造業の設備投資の減少。 ・新築、増築等の先送りや様子見。
---------------------------------	--

製造業

金属塗装 金属加工 精密板金 電子部品 農業機械 厨房器具 小型情報機器組立 印刷 製版 菓子 食品・飲料	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出親企業が売上出来ず、当社への発注も激減している。 ・海外の買い渋り ・顧客の営業力の低下 ・コストダウン、国内空洞化 ・調達品の価格変動による原価アップ ・輸出製品(間接輸出)の値下げ要請 ・国内の輸出企業の業績が悪くなり、その結果国内景気が悪化する。 ・以後の受注が少なくなるのでは？ ・プラス要素と考えられる輸入原油、LPガス、木材チップ等を扱う資材メーカーが逆に値上げ通知してきている。 ・注文の減少があると思う。節約と金融不安で。 ・輸出関係の注文がほとんどなくなった。 ・円高になった場合の変動が大きい。
---	---

卸売業

機械工具 金属製品 木材・建材 包装資材	<p>大手客先が製品を輸出している為、間接的に影響を受ける。</p> <p>国内市場が低迷している中で、円高により海外からの需要が低迷すると、流通市場は益々冷え込む恐れがある。</p> <p>為替差損の発生</p> <p>主力販売品のプラスチックの価格が下落しデフレ傾向になるため、利益の確保、売上の維持に苦労すると思われる。</p>
-----------------------------------	---

小売業

石油製品 ギフト商品 陶磁器、パン 文具、薬局 手芸材料	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用の納入が難しくなる。 ・円高により弱った企業からの発注減少。 ・消費マインドの冷え込み ・景気が悪くなり、消費が落ち込み売上が低下しそう。 ・海外からの観光客の単価が低くなる。
--	--

マイナスと考えられる影響

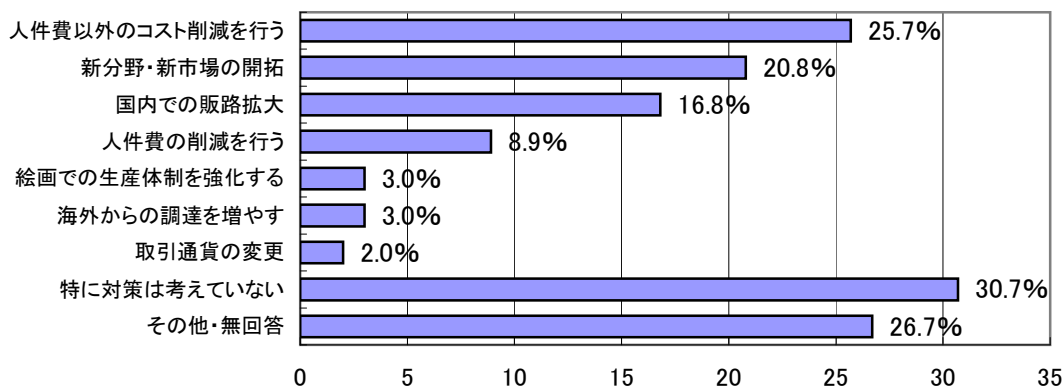
飲食業

料理 料理 寿司	<ul style="list-style-type: none"> ・景気後退により、消費が落ち込む。 ・関連企業の業績・収益悪化により、飲食・宴会等の需要の減退。 ・企業の海外シフトによる、消費マインドの減退。円高・株安等も含め先行き不安からくる消費の減退が心配。 ・輸入コストが下がっているにもかかわらず、原材料については一部で値上がり傾向にある。
そば ラーメン	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出産業に従事している人々の来店が少なくなるのではないかと。 ・出張などでの松来が少ない。

サービス業

建築設計 機械設計 ホテル 温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資の減少が心配。 ・海外生産用専用機を現地で製造する。 ・海外客の減少 ・ヨーロッパ方面からの旅行者が少なくなった。 ・日本へ旅行に来る外国客にとっては、円高になるほど旅行代金が増えるので日本に来にくくなる。また、海外旅行をする日本人客にとっては、海外旅行費用は少なくすむので国内旅行から海外旅行へと変わる可能性が増える。
情報関連サービス ビル・住宅総合メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・海外-直販メーカーと、価格の格差が大きく利幅は少なくなっている。 ・取引先が円高影響を受けている企業が数社あるため、取り引き回数の削減、単価の見直し、値下げ等影響は大きい。今後は、業種を問わず裾野まで、その厳しさは広がって行くと思う。
倉庫 タクシー 専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業が円高対策の一環として、物流コストを圧縮する。 ・顧客の海外移転 ・直接的な業績への影響はないが、円高により業績が低下する企業からの求人が減少し、当校の就職率が低下する懸念があります。
クリーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の空洞化及び衰退。

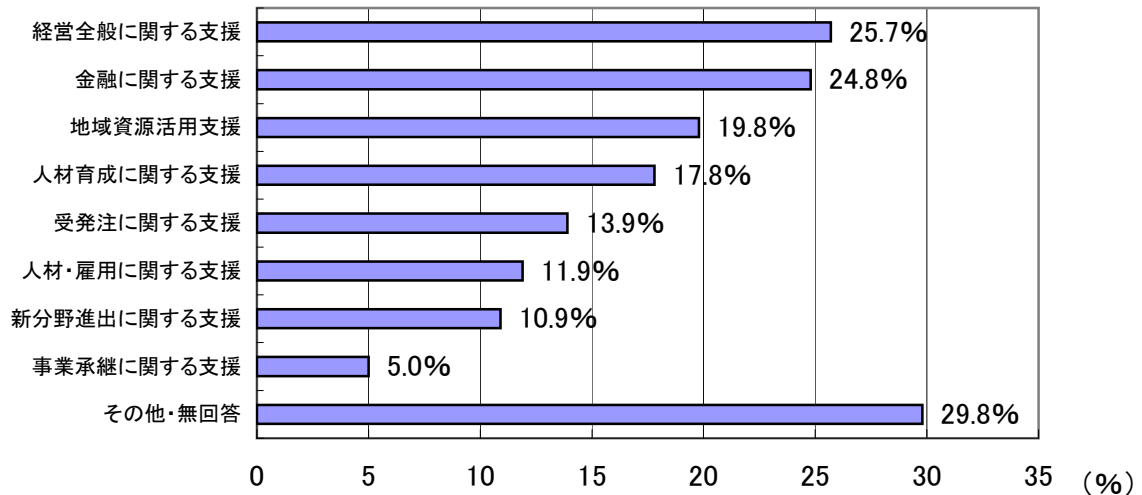
問4 マイナスと考えられる影響に対する緩和策についてお聞かせ下さい。



■ マイナス影響に対する緩和策について聞いたところ、「人件費以外のコスト削減を行う」25.7%、「新分野・新市場の開拓」20.8%、「国内での販路拡大」16.8%、「人件費の削減を行う」8.9%、「海外での生産体制を強化する」3.0%、「海外からの調達を増やす」3.0%、「取引通貨の変更」2.0%となった。一方で、「特に対策を考えていない」という企業が、全体の30.7%を占めている。

■ 緩和策についてのコメントでは、「あらゆる経費削減を実施しているが、これ以上どうしたら良いか悩む」(建設工事)、「納入品メーカーとのコストダウン協力」(機械工具)、「付加価値をつけた販売により、価格競争から脱退する」(情報関連サービス)といった意見が寄せられた。

問5 今回の円高の影響も含め、今後、行政や商工会議所に望む支援についてお聞かせ下さい。



■行政や商工会議所に望む支援については、「経営全般に関する支援」25.7%、「金融に関する支援」24.8%、「地域資源活用支援」19.8%、「人材育成に関する支援」17.8%、「受発注に関する支援」13.9%、「人材・雇用に関する支援」11.9%、「新分野進出に関する支援」10.9%、「事業承継に関する支援」5.0%、「その他・無回答」29.8%であった。

問6 その他、円高進行による具体的な影響や現在の景況、貴社の経営上の課題、商工施策全般へのご意見、ご要望があればご自由にお書き下さい。

建設業

鉄工	・公共工事の低入札の監視をきちんとして欲しい。本当に困っているのは落札した元請業者でなく下請である。低入札した挙げ句、県外の下請業者に発注させているのでは、地域が潤わない。
総合建設	・円高が直接影響する職種ではないが、円高不況で住宅建設が少なくなって困る。
建設工事	・一般消費者、農業者が元気にならないと景気は良くなる。

製造業

金属塗装	・当社では海外への展開は出来ないので、親企業が日本に残れる円の水準(85円/1ドル)位にもって行ってほしい。
合成樹脂加工	・国内企業不調による需要減。

卸売業

機械工具 包装資材	・製造製品を客先が国内向けに変化させている。 ・流通業のオーバーストアによる過当競争は、さらに安売り競争に走る可能性がある。グローバルゼーションは、本当に市民のためになるかどうかを再度検討する時期にきているのではないか。
--------------	---

問6 その他、円高進行による具体的な影響や現在の景況、貴社の経営上の課題、商工施策全般へのご意見、ご要望があればご自由にお書き下さい。

小売業

手芸材料	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源をさらに生かして、松本城近辺だけでなく、広く地域にひろがる観光ができればと思う。 ・円高メリットを目に見える形でPRすることで、マインドの冷え込みを防いでほしい。
陶磁器	

飲食業

寿司	<ul style="list-style-type: none"> ・ドル円レートが1ドル90-95円への誘導政策を願う。
----	---

サービス業

情報関連サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・先行き不況ムードがあり、日本経済全体への期待が薄れてきている。海外へ流出防止等、製造業に対する支援や税優遇等の実施を行う必要がある。 ・TPPについて、メリット・デメリットを詳細に調べて、研修・パンフレットを通して伝えてほしい。TPPの是非について関心はあるが、判断できない状態で不安が広がっている。 ・今回、連続テレビ小説「おひさま」や映画「岳」・「神様のカルテ」等で、県外のお客様が松本・安曇野へ大勢来た。今後も積極的に、テレビ、映画、イベント、大会等を誘致して欲しい。
倉庫	
温泉旅館	